

残暑はまだ厳しいですが、もう9月ですね。朝夕はマシかな？

記録的な暑さも峠を越え、ようやく先がみえてきました。賑やかだったクマゼミのシャンシャンという声もいつしか遠くなり、ツクツクボウシが秋を告げています。日の暮れるのも少しずつ早くなって、耳を澄ませば秋の虫たちがなきだしています。夏の疲れが出やすい時期です。遅くまで起きていた方も、そろそろ「早寝」に戻っていききたいですね。

【ニュース】

1 今月の診療担当医師の変更：

9月22日（月曜日） 巽 休診
（クリニックはお休みです）

9月24日（水曜日） 三谷 休診
（巽は通常通りの診療です）

2 祭礼の期間の予定：

10月3日（金曜日）・4日（土曜日）は、鳳の祭礼です。商店街は「だんじり」の曳引コースにあたりますので、クリニックは休診とさせていただきます。

3 10月10日より、金曜日の午前診を三谷も担当します。よろしくお願ひします。

4 インフルエンザの予防接種

10月1日よりインフルエンザの予約の受け付けを始めます。詳細につきましては、堺市からの通知が届き次第クリニックでお伝えします。

5 特定健診・特定保健指導について

ようやく社会保険の方のところにも受診券が届きはじめました。保険証と共に、ミタクリの受付にお出し下さい。わかりにくい点がございましたら、遠慮なくお聞き下さいね。

6 長寿（後期高齢者）医療保険をおもちの方

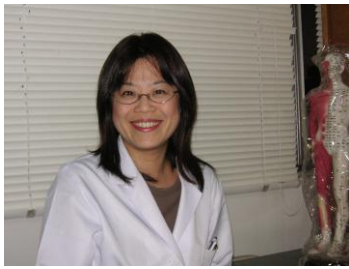
まだ受診券が届いていない市町村があります。お手元に届き次第、クリニックにおもちください。

【ミタクリ歳時記 二百十日のこと】



台風は野分の風（野の草をわけて吹く）として古くから恐れられています。二百十日は、立春から数えて二百十日目にあたり、新暦ではほぼ九月一日頃です。丁度稲の開花期で「二百十日は農家の厄日」と広くいわれ、この日を警戒します。二百十日が暦にのるのは貞亨暦（1684-87）徳川綱吉の時代といわれています。時の暦の編さん係をしていた安井春海（しゅんかい）は釣りが好きで、ひまがあれば海上に船をうかべて釣りをします。ある日、快晴でおだやかだったので、釣り道具をもち、品川へ行って船を出そうとします。ところが海上に一点の雲があることから、一人の老漁師が、「今日は二百十日目である。私の経験によると、この時は午後になると必ず大荒れになるから釣りに出ない方がよい」と助言します。天文学者であった春海は、この漁師の言葉に本当は半信半疑でしたが、釣りをあきらめて家に帰りました。さあ、その後はたして暴風雨となりました。春海は、自分の学問が一漁師の実地の体験にまだ及ばないことを知り、更に勉強しますが、二百十日に台風の来ることを広く人びとに知らせるために、暦に記載した、といわれています。壬癸録（じんきろく）によると「八十八夜、二百十日、改暦の時に之に註をつけていない。伊勢の船長が奉行所に訴えていわく、八十八夜を過ぎると天気は温くなり、海路はおだやかである。二百十日の前後、必ず大風有り、すべての船師は之を知らなければならない。願わくば暦に註をつけて欲しい。暦は民間の人にとって便利なものでなければならない」と、あります。台風は農民にとってのみならず、漁師・船のりにとっても大きな関心事であったわけです。九月上旬には、全国各地で風の被害から農作物を守るために「風祭」「風鎮祭」が行なわれていましたが、現在気象学の進歩のなかで風籠り行事は殆んどなくなっています。しかし、風の被害はなくなったわけではなく、むしろ昔よりも増えているのではないのでしょうか。純粋な天災ではなく、人災の部分が大きいからです。科学の進歩に見合った政治が必要なのでしょう。

【欣子先生の診察室だより】



朝晩、めっきり過ごしやすくなりました。駐車場の裏のススキも穂をだしています。皮膚がかゆくなってきたり、空咳が出たり、身体も確実に秋を感じています。皆さんの夏はいかがでしたか？

私は夏休みに岐阜県中津川にいつてきました。馬籠宿？栗？あとは？って言われますが鉱物にちょっとでも興味があれば必ず地名にぴんとくるところです。日本でも有数の鉱物の産地で、昔はトパーズや煙水晶をはじめ沢山とれたそうです。川に入って底の石でもさらおう

かというつもりでいったのですが、さすがにこの時期は木や草が茂っていて川べりまでも到達できず、結局中津川鉱物博物館前で水晶探しのイベントに参加、炎天下汗だくで子供と根比べ。頑張つて煙水晶のかけらを発見しました。この博物館のコレクションは本当にすばらしいです。これが自然に出来た結晶？と驚きが一杯です。是非オススメします。

鉱物採集の趣味については6月号のミタクリ通信でふれましたが、きっかけは二上山でざくろ石(1mmにも満たない鼻血の固まりのような、でも結晶の形をしていてかわいいです)を取りに行ったときからです。そのときに見ず知らずのお兄さんにそれはそれは美しい天川村のレインボーガーネットをいただいて、こんな世界があるんだと感動したのがはじまりです。自然にできたきれいな結晶を見ながら悠久の地球の歴史を考えると、今ぐずぐず考えていることなんてたいしたことないなあと思えます。本当は星をみながらそう思うんでしょうけど、都会じゃ見えませんからね。

その後、「僕も昔、石が好きやってん！」と三谷先生が大昔におばあさまからいただいたという鉱物標本を娘にいただきました。そして往診患者さんの娘婿のHさんが結晶の専門家だとわかって、往診そっちのけでいろんなコレクションを偏光顕微鏡でみせていただいたり、気安くいただいたり、。1診の机の上にある古時計は、Hさんが古道具屋で買ってきた大理石の時計をご自分で石膏の結晶の形にカットしてくださったものです。漢方を志すものとしてそのところがうれしかったです。石好きの人はやさしい！！とおもっていたら先日ミタクリにFAXがとどきました。カルチャーセンターで鉱物採集の講座がありますよという患者さんからのお知らせでした。石好きを覚えててくださったんですね。こんな反応して下さると石を見ているより幸せな気分です。ありがとうございました。

【終わりに】

ミタクリには、患者さんの声に耳を傾けたいと思い、待合いに「ご意見箱」を置いています。先日、こういった投書をいただきました。「予約をしているのに長時間待たされてつらい思いをした。改善してください。」という内容でした。どうしても一人一人の診察を丁寧にしようとするあまり、待ち時間が長くなってしまっているようです。特に、初めて来られた患者さんに対しては時間をかけています。しかし、せっかくお忙しい中を時間のやりくりをして予約で来られた患者さんにつらい思いをさせるのは本末転倒です。予約のとりかたなど、もう少し工夫を重ね、気持ちよく診察を受けていただける環境を整えていきたいと思ひます。

いろいろなご意見、今後ともよろしくお願ひします。

【外来担当医一覧 2008年9月現在】

予約電話番号：072-260-1601

| 診療受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|-------|----|-------|-------|-------|----|
| 午前 (9:00-11:00) | 異 | 三谷 | 異/三谷 | 異 | 異 | 三谷 |
| 午後 (14:00-16:00) | 異(予約) | | 異(予約) | 異(往診) | 異(予約) | |
| 夜診 (16:30-18:30) | | 三谷 | 三谷 | | 三谷 | |